

「マスク着用についての目安」に関する Q&A

R4.11.1時点

マスク着用に関しては、できるだけマスクを着用したい方、マスク着用が困難な方など、様々な方がいらっしゃいます。他者に配慮し、お互いの対応を尊重していただくようお願いします。

Q1.「屋内」での着用について

国では、条件によっては屋内のマスクの着用を不要としていますが、県の目安で距離・会話の条件を問わず着用を推奨する理由は何ですか。

A1.国のリーフレットでは、「会話をほとんど行わない」場合にマスク着用を不要としていますが、人によって解釈が異なり、対応がまちまちとなって混乱が生じる可能性があります。また、例えば商業施設などでは、人が相互に移動しており、人と人との距離が流動的になります。加えて、自分が会話をしていなくても他者が会話をしたり、咳やくしゃみなどをした際に飛沫を浴びてしまう可能性やエアロゾル感染のリスクが屋外よりも高くなることから、着用を推奨するものです。

Q2.「屋内」の考え方について

国では、屋内の考え方を「外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など」としていますが、窓を開けた状態の建物の中、教室、体育館などは屋外と同様の考え方で良いですか。

A2.屋外と異なり、屋内は施設構造によって窓を開けた状態でも換気の状態等が一律ではないため、上記のケースは、基本的には屋内と同様の考え方をすべきものと考えます。

Q3.屋外の人混みについて

駅前や信号待ちのような人混みが発生するような場面であっても、屋外において会話をしない場合には、マスクを外してよいですか。

A3.人混みが発生するような場面でも、屋外において近距離での会話をしない場合には、マスク着用は必要ありません。

Q4.屋外での会話について

屋外において会話をする場面とは、具体的にはどのようなものが想定されますか。

A4.例えば、イベント等で列に並ぶ際には、十分な距離が取れず、どうしても会話が生じてしまうことが想定されます。また、野球やサッカーなどのスポーツ観戦では、得点時などの歓声も会話に相当すると考えられます。各施設の管理者やイベント主催者等からの呼びかけにご協力いただくようお願いします。

Q5.外したマスクの取扱いについて

マスクの着脱が頻繁になるので、外したマスクの管理や再装着する際の汚染なども気になります。どのように取り扱ったらよいでしょうか。

A5.マスクを介した接触感染は主な感染ルートではありません。マスクの表面に極力触れないようにし、手洗いや手指消毒を徹底していれば、あまり神経質になる必要はないものと考えています。

Q6.熱中症との関連について

夏場に屋外でマスクを外すことを推奨する根拠は何ですか。

A6.厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード」資料(令和4年6月1日)において、「夏場については、熱中症予防の観点から屋外ではマスクを外すことを推奨する」とされていることによります。

気温や湿度が高い時は、熱中症を防ぐため、適切な対策を実施しましょう。

- 屋外では ・日傘や帽子の着用 ・日陰の利用、こまめな休憩 等
- 屋内では ・扇風機やエアコンで温度を調節 ・遮光カーテン、すだれを利用 等
- 屋外でも、屋内でも、のどの渇きを感じなくてもこまめに水分を補給

Q7. 学校生活におけるマスク着用について

学校生活におけるマスク着用についてはどのように考えればよいですか。

A7.マスク着用について学校現場では、夏場の熱中症を防ぐため、登下校時にマスクを外す等、文部科学省の衛生管理マニュアルや事務連絡に基づき、対応しています。

また、県教育委員会では、学校現場や市町村教育委員会のご意見を参考に、「学校生活における児童生徒のマスク着用に関する基本的な考え方」をまとめ、令和4年6月30日に県立学校及び市町村教育委員会へ通知し、各学校で「マスク着用についての目安」を基準として「マスク着用が必要ない場面」に関する指導方針を決定するよう求めています。